

平成30年度
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定					今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み	
組織の基本方針又は使命 京田辺市に生まれ、京田辺市で育つ子どもたちがきらきらと輝くまちを創ることが、すべての市民が未来にわたって輝くまちを創るとの考え方に基づき、子どもに関する施策を総合的かつ強力に推進する。	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	⑩ 施政方針 目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み	
	1. 市立幼保連携型認定こども園整備事業の推進	・今後も保育ニーズが高まる見込みのなか、公立幼稚園・保育所を再編・集約した幼保連携型認定こども園の開園を目指す。	・幼保連携推進会議で、再編・集約する施設を決める。 ・再編・集約を行う整備工程を決める。 ・市組織の再編・集約について検討する。 ・31年度当初予算に関連予算を計上する。	幼保連携推進会議等において市立幼保連携型認定こども園の整備工程や市組織の再編などについて協議し、平成31年度当初予算に北部地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園の整備に向けた基礎調査費を計上した。	A		
	2. 幼保連携型認定こども園及び保育園の開園	・民設民営による認可保育園及び幼保連携型認定こども園が平成31年4月にスムーズに開園できるように支援を行う。	・設置・運営事業者との定例会を持ち、整備・運営に係る支援を行う。 ・整備に係る補助金を交付する。	17 幼保連携型認定こども園整備運営事業者との定例会議を通じて課題等の整理・調整を行うとともに、整備・開設準備に係る補助金を交付し、平成31年4月に開園を迎えることとなった。なお、認可保育園については、整備運営を予定していた事業者が計画を撤回した。	C	次期子ども・子育て支援事業計画に係るアンケート調査(ニーズ調査)結果を踏まえて、改めて認可保育園整備の是非を検討する。	
	3. 次期子ども・子育て支援事業計画の策定	・現計画が平成31年度末に終了することから、30－31年度の2か年において、次期計画を策定する。30年度では、市民アンケート調査を実施し、結果を取りまとめる。	・子ども子育て会議に報告や意見をいただきながら、アンケート内容を決定する。 ・31年1月にアンケートを実施 ・31年3月までにアンケート結果を取りまとめ	20 次期子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて、就学前児童1,500人及び小学生1,500人の保護者を対象としたアンケート調査(ニーズ調査)を実施した。	B	近日中にアンケート結果を取りまとめる。	
	4. 高まる保育ニーズへの対応	・年度当初に待機児童を発生させることのないよう、必要な施設定員を確保する。	・今後の保育ニーズをしながら、民間事業者による認可保育園や小規模保育・企業主導型保育事業などの導入について検討する。	保育ニーズの推計を改めて行い、企業主導型保育事業などの導入について検討した結果、平成31年度当初においては必要な施設定員を確保した。	A		

※【目標の達成度の区分:A達成できた、B概ね達成できた、C達成できなかった】